

**ネットヨタ瀬戸内
有償でインターンシップ
愛大共創学部学生受入れ**

ネットヨタ瀬戸内(松山市中央1-19-32、平松龍一社長)は、4月から「有償インターンシップ」をスタートする。有償にすることで学生の体験業務への集中度を高める一方、企業として自己成長の場を提供するの狙い。

受け入れるのは、愛媛大学社会共創学部3年生の男子学生で、モビリティ事業部での従事となる。

松山商議所は、コロナ禍における国内外のビジネスシーンで陰性証明書の提示や顧客への安全性のPRなどPCR検査のニーズが高いつことから同事業を計画。昨年12月の県総合保険協会との連携合意を経て、2月10日から各商工会議所を通じて申し込みの受け付けを開始した。松山商議所は3月初旬までに既に数百セットを発送している。「地域を越える人事異動や新年度の時期を迎え企業は安全安心を担保することが大切。これから検査への要望はさらに高まる」(観光振興課)としている。

なお今治商工会議所では今年1月から会員企業の要望に合わせ今年4月1日から「有償インターンシップ」を実施する。

SDGsのゲーム研修

IRC、3月から受付

いよぎん地域経済研究センター(IRC、松山市三番町5-10-1、重松栄治社長)は、3月5日から「2030SDGsカードゲーム研修」をスタートした。

このカードゲームは、世界共通のゴールであるSDGsが「なぜ必要とされるのか」「私たちに



就業体験のテーマは、「地域が抱える課題の解決」で、具体的な内容を学生自身で決定する。就業額は月給制で、5万円を予定している。このため学生はアルバイトに就かずインターンシップに取り組める。期間は今年4月〜2023年3月31日を予定している。

同社は「向上心のある大学生の自己成長のために働く場を提供する。こうした学生を育てることが地方創生につながる」(モビリティ事業部)としている。

